

MATISSE

H. Matisse



『マティスとルオー 友情の手紙』刊行記念

マティスとルオー

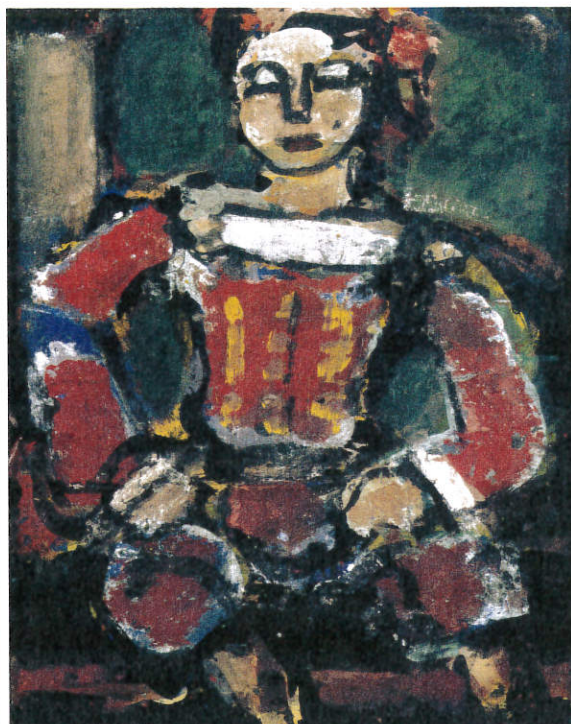
Matisse et Rouault



描こう、共に。



アンリ・マティス《鏡の前の古いドレス》1937年 京都国立近代美術館



ジョルジュ・ルオー《赤と金色の小娘》『気晴らし』のための原画 1913年 マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ
Donation Alice Tériade, 2000 / Photo: Philip Bernard © ADAGP Paris & JASPAR, Tokyo, 2016 G0720

語ろう、友よ。

- 開館時間：火～金 午前10時～午後8時／月・土・日・祝 午前10時～午後6時[ただし5月3日(水・祝)～7日(日)は午後8時まで開館時間を延長]※入館は閉館30分前まで ●休館日：4月10日(月)、17日(月)、24日(月)、5月8日(月) ●主催：あべのハルカス美術館、産経新聞社、関西テレビ放送
- 後援：フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、大阪市教育委員会 ●特別協力：ジョルジュ・ルオー財団 ●協力：日本航空

この展覧会は、ジョルジュ・ルオー財団の協力のもとに開催されます。Exposition réalisée avec le concours de la Fondation Georges Rouault.

2017 4.4_[Tue] — 5.28_[Sun]



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

ROUAULT



Georges Rouault

語ろう、友よ。描こう、共に。



20世紀フランス絵画を彩ったふたつの偉大な個性、アンリ・マティス(1869-1954)とジョルジュ・ルオー(1871-1958)。かたや色彩画家、かたや宗教画家として、稀有な画風を確立し、その名を輝かせたふたりが、実は強い友情で結ばれていたことをご存知でしょうか。

そのつながりは、1892年、国立美術学校のギュスターヴ・モロー教室に始まります。その後、二度の大戦を経験した激動の時代の中、人生の折節に、彼らは家族ぐるみの交流を続け、互いの芸術への敬意と支援を惜しみませんでした。

近年発見されたふたりの往復書簡は、1906年に始まり、マティスが没する前年の1953年まで、断続的ながら実に約半世紀にわたっています。制作に関することはもとより、私生活での出来事や恩師への想いなどがつづられた行間からは、深い信頼と共感に支えられた彼らの絆が伝わってきます。

本展では、両者の間に交わされた手紙を交えつつ、マティスの貴重な初期作品や、ルオーの重要な版画集『気晴らし』の油彩原画シリーズ全点など、初来日作品を含む約140点をご紹介します、その50年の友情と芸術の軌跡をたどります。



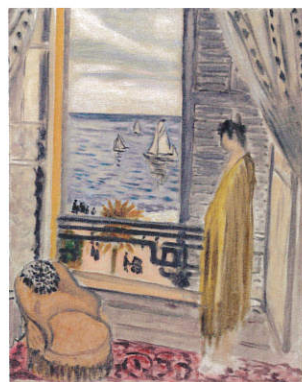
①



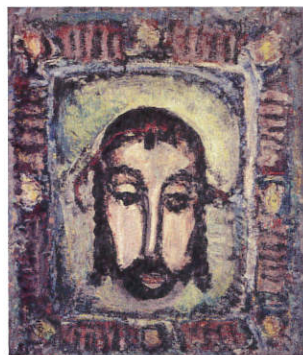
②



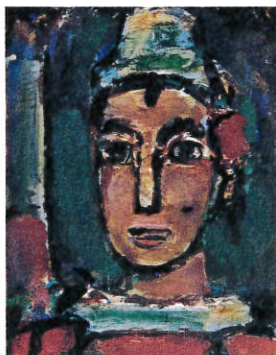
③



④



⑤



⑥



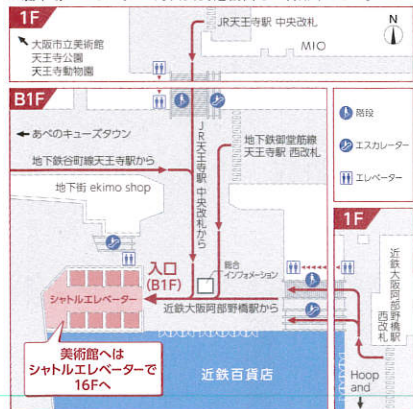
⑦



⑧

① ジョルジュ・ルオー《女性裸体習作》1895年頃 個人蔵(ジョルジュ・ルオー財団協力) ② アンリ・マティス《スピーダムの瓶のある静物》1896年 マティス美術館、ル・カトー＝カンブレジ ③ アンリ・マティス《肘掛椅子の裸婦》1920年 DIC/川村記念美術館 ④ アンリ・マティス《意図の女》1920年 みぞえ画廊 ⑤ ジョルジュ・ルオー《聖顔(聖骸布)》によるタピスリー 1937年 ジョルジュ・ルオー財団、パリ ⑥ ジョルジュ・ルオー《優しいベルナルド》「気晴らし」のための原画 1943年 マティス美術館、ル・カトー＝カンブレジ、Donation Alice Tériade, 2000/ Photo: Philip Bernard ⑦ アンリ・マティス著・画/テリアド出版(パリ)《馬、女曲芸師、道化師》「ジャズ」より 1947年 宇都宮美術館 ⑧ ジョルジュ・ルオー《聖ジャンヌ・ダルクー古い町外れ》1951年 個人蔵(ジョルジュ・ルオー財団協力) ①、⑤、⑥ © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2016 G0720 ※会期中、一部展示替えがあります。

近鉄「大阪阿部野橋駅」、JR・地下鉄「天王寺駅」、
阪堺上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ。
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



※あべのハルカス美術館へは、
シャトルエレベーター【乗り口:地下1階または2階】
をご利用ください。

あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

〒545-6016
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階
【お問い合わせ】06-4399-9050
【美術館公式HP】http://www.aham.jp/

記念講演会

「わが祖父、ジョルジュ・ルオー」



展覧会の開催を記念し、ジョルジュ・ルオー財団理事長でル
オーのお孫さんであるジャン＝イヴ・ルオー氏に、祖父ルオーの
思い出とその芸術について語っていただきます。

講師: ジャン＝イヴ・ルオー氏(ジョルジュ・ルオー財団理事長)
日時: 4月4日(火) / 午後2時~3時
会場: あべのハルカス25階会議室(17階からエレベーターにお乗りください)
定員: 150名(先着)

※聴講は無料ですが、本展の観覧券(半券可)が必要となります。講演会当日、
午後1時30分より、あべのハルカス25階にて受付開始。



「山田五郎アートトーク」

講師: 山田五郎氏(評論家)
日時: 4月21日(金) / 午後6時~7時
会場: あべのハルカス25階会議室(17階からエレベーターにお乗りください)
定員: 270名(先着)

※聴講は無料ですが、本展の観覧券(半券可)が必要となります。講演会当日、
午後5時30分より、あべのハルカス25階にて受付開始。

観覧料(税込)	当日	前売・団体	前売りペアチケット
一般	1,400円	1,200円	一般のみ 2,200円(2枚組)
大高生	1,000円	800円	※1枚ずつでも使用できます。セブンチケット、チケット ぴあ、ローソンチケット、イープラスで販売します。
中小生	500円	300円	

前売券、前売りペアチケットは1月24日(火)から4月3日(月)まで販売。

前売券販売所: あべのハルカス美術館ミュージアムショップ(3月26日まで販売)、あべのハルカス2階「くつろぎの森」、近鉄駅営業
所、セブンチケット(<http://7ticket.jp>)、チケットぴあ(Pコード:768-056)、ローソンチケット(Lコード:52668)、イープラス、CNプレ
イガイド、ファミリーマート、サークルKサンクス、近畿日本ツーリストグループの店舗(一部店舗を除く)など

関西テレビの人気アナウンサー!

音声ガイド
マティスとルオーに
扮したふたりのアナによる
往復書簡の朗読と、
わかりやすい作品解説が
聴ける楽しいガイドです。

貸出価格
520円(税込)
解説時間
約30分

豊田康雄アナ
大橋雄介アナ

ギャラリー・ツアー

講師: 当館学芸員
日時: 4月19日(水)、5月17日(水)
各日午後6時30分より(約30分)
会場: 展示室
※聴講は無料ですが、本展の観覧券が必要となります。

※団体は15名様以上。※障がい者手帳をお持ちの方は、
は、ご本人と付き添い1名様まで当日料金の半額。
※本展観覧券(半券可)の提示で、「木×仏像一飛鳥
仏から門空へ」展(4月8日(土)~6月4日(日))、大阪市立美
術館)の当日券を100円引きでご購入いただけます。